参考様式第５－２号

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	（第5回）
目標年度	令和15年度
市町村名 （市町村コード）	長野市 202011
地域名 （地域内農業集落名）	32　信州新町地区 （池田,日方,上中山,聖沢,中牧．新田,古矢場,曙,米田和,里穂刈,境町,千原田,本町,久保,矢ノ尻,寺尾,穴平,二丁田,花倉,平,追沢,安用,風越,橋場,新町第一,新町第二,峰組,枌の木,赤柴,大河,西日時,下川，西平,太田笠子,旭,本村,津和中央,山秋,中福,栃久保,中尾,菅沼,細尾,外味藤,味藤,豊和,津南,中組,萩野，左右礼,中塚，宇内坂,大原,鹿道,日名,置原,橋木,左右,岩下,高見,川名,信級中央,岩本,柳高,下市場,大門,原,塩本,牧野島,牧田中一,牧田中二,中牧,中原,大月,一倉田和,南牧住平,下中山,和田吐唄）

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1　地域における農業の将来の在り方

（1）　地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	559 ha
①　農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	559 ha
②　田の面積	124 ha
③　畑の面積（果樹、茶等を含む）	434 ha
④　区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	55 ha
⑤　区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	4 ha
（参考）区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
（備考）遊休農地面積2ha（うち１号遊休農地2ha、２号遊休農地0ha） ※ ⑤は、長野市内で引き受ける意向のあるすべての農地面積の合計。	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5:（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

（2）　地域農業の現状及び課題

・地区全体において、高齢化が進み、後継者・担い手の確保が困難である。
・畑地を中心に急峻で狭隘な農地が多く、機械化や集約化が進まず、草刈り等の維持管理が大変なことから、営農の継続が困難となっている。
・人手の限界があり、経営規模の拡大が難しい。
・イノシシ、ニホンジカ、ハクビシン等による野生鳥獣被害が確認されており、狩猟者の確保が必要である。
・後継者のいない農業者が多く、将来耕作放棄地の増加が見込まれることから、新たな受け手の確保が必要である。

（3） 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・JAおよび地場産業開発機構と連携し、市場のニーズを踏まえた作物生産を行う。
・水田作については、中山間地域直接支払制度を活用しながら基盤整備の完了した田を中心に営農の継続を図るとともに、担い手のいなくなった田の農作業を請け負う営農組合の設立を検討する。
・畑作については担い手の規模拡大につなげるため、意向を踏まえながら条件の良い農地を優先的に貸し付ける。
・労働力不足を補うため、経営体間で労働力を斡旋するような援農体制の構築、女性や定年退職者等多様な働き手の育成等の取組を検討する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

（1）農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

当面、現在の耕作者が営農を継続するが、将来的には担い手を中心に、実情に応じ次の耕作者へ承継するほか、新規就農者の育成（親元就農・Iターン・半農半X等）を促進することにより対応していく。

（2）担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	2.1 %	将来の目標とする集積率	35 %

（3）農用地の集団化（集約化）に関する目標

点在・狭窄から農地の集団化(集約化)は難しい点があるが、農家が生産を継続・拡大するための作業支援や、農家の組織化・協働化を進めることなどにより、農用地の効率的な利用に取り組む。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

（1）農用地の集積、集団化の取組

担い手を中心に集積・集約化を進め、団地面積の拡大を農地中間管理機構を通じて進める。

（2）農地中間管理機構の活用方法

信州新町地区の農地を次世代につなげるため、農地中間管理機構を活用して農地の流動化に努める。

（3）基盤整備事業への取組

基盤整備された農地を守るとともに、水路の老朽化の補修工事及び暗渠事業を実施する。

（4）多様な経営体の確保・育成の取組

・信州新町の情報発信を通じ、親元就農・Iターン・半農半X・法人等の多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、長野市・長野市農業公社及びJA等と連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
・後継者のいない農業者が新規就農者（移住者を含む）を担い手として育成し、農地・技術・機械等を継承していくような新しい仕組みの構築について検討する。

（5）農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

長野市農業公社が運営する農作業お手伝いさん制度を活用し、農作業の省力化と労働力の確保を行う。
また、地域内の支援組織構築に向けた研究・検討を進める。

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）										
☑	①鳥獣被害防止対策	☐	②有機・減農薬・減肥料	☐	③スマート農業	☐	④畑地化・輸出等	☐	⑤果樹等
☐	⑥燃料・資源作物等	☑	⑦保全・管理等	☐	⑧農業用施設	☐	⑨耕畜連携等	☑	⑩その他

【選択した上記の取組内容】

〇集落営農組織の設立に関する取組方針…⑩

地域の農地利用の一端を担っていける組織として、定年退職者等を中心とした集落営農組織の設立について検討する。

〇野生鳥獣による被害防止対策に関する取組方針…①

農地周辺の草刈りなどの環境整備や団地全体を囲む侵入防止柵の設置及び鳥獣を誘因する放置農作物の撤去等、野生鳥獣の被害防止対策と、狩猟者の確保に向けた取り組みについて検討する。

〇特産品の開発並びに販路拡大に関する取組方針（ブランド化）…⑩

・農産物の新たな活用を図るため、加工品としての利用も含めた特産品の開発について研究するとともに、道の駅など地域の直売施設と連携した販売促進に加え、新たな販路の開拓など、農産物の生産の拡大と所得の増加につながるための取り組みについて検討する。

・サフォーク種の羊の振興について、引き続き取組を進めていく。

〇農地の有効な利活用に関する取組方針…⑦,⑩

地理的条件に優れ、農業用施設が整備されているなど、将来的にも農地として利用の継続が見込まれる遊休農地について借手を探し貸借を促進するなど、農地の有効な利活用を図るための取り組みについて検討する。

〇農地の有効な利活用に関する取組方針…⑦,⑩

高齢化が進み営農継続が困難となった農地を維持するため、少ない労働力で生産できる省力化作物の普及促進について検討する。

〇農地中間管理機構を通じた貸借における賃借料について…⑩

原則として金納とされているが、農地所有者の事情等により、地域の農地利用調整の合意形成において物納が必要とされた場合は、金納に代わり物納（ただし、米に限る）の取扱いができるものとする。

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者（氏名・名称）	現状			10年後（目標年度：令和 15 年度）				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	0経営体		0 ha	0 ha		0 ha	0 ha		

注1：「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2：「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3：農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4：作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5：備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5　農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 （氏名・名称）	作業内容	対象品目

6　目標地図（別添のとおり）

7　基盤法第22条の３（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）		うち計画同意者数（人・%）	

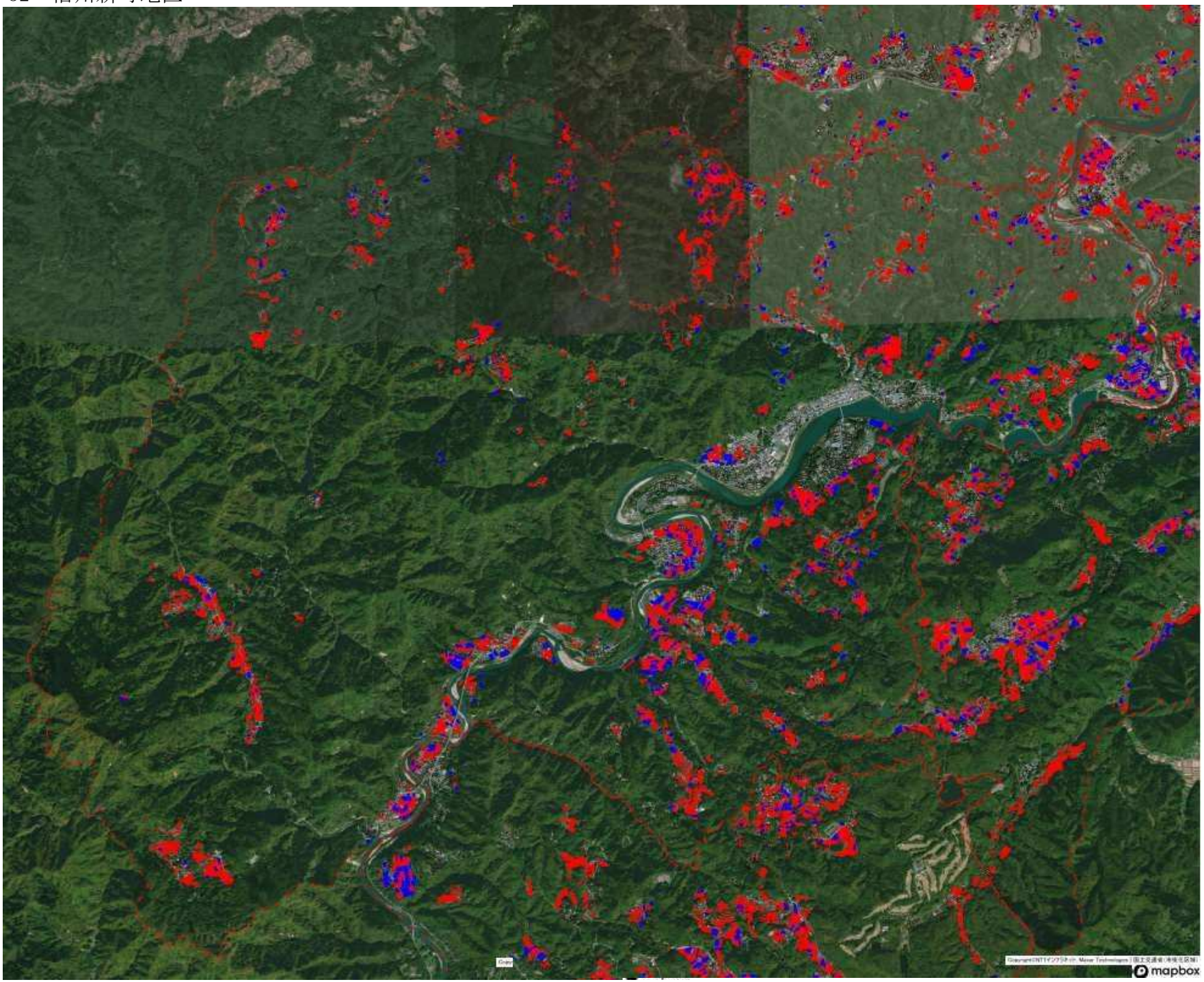
注１：「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注２：「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注３：提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）
農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。
また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。
必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

	属性	農業を担う者（氏名・名称）	現状			10年後（目標年度：令和 15 年度）				
			経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
1	利用者		野菜、雑穀、水稲	0.50 ha	ha	野菜、雑穀、水稲	0.50 ha	ha		
2	利用者		果樹	0.50 ha	ha	果樹	1.00 ha	ha		
3	利用者		めん羊、リンゴ	0.05 ha	ha	めん羊、リンゴ	0.15 ha	ha		
4	認就		ワイン用ブドウ	0.00 ha	ha	ワイン用ブドウ	2.00 ha	ha		
5	利用者		梅、花卉、野菜	0.50 ha	ha	梅、花卉、野菜	1.50 ha	ha		
6	利用者		花卉	0.18 ha	ha	花卉	0.38 ha	ha		
7	利用者		水稲	0.15 ha	ha	水稲	0.30 ha	ha		
8	利用者		ワイン用ブドウ、野菜	2.85 ha	ha	ワイン用ブドウ、野菜	3.00 ha	ha		
9	認農		露地野菜	1.00 ha	ha	露地野菜　ハウス栽培80種類	1.10 ha	ha		
10	認農		小梅	0.20 ha	ha	小梅	0.50 ha	ha		
11	利用者		リンゴ、桃	0.50 ha	ha	リンゴ、桃	0.50 ha	ha		
12	認農		梅、柿	1.00 ha	ha	梅、柿、野菜	1.30 ha	ha		
13	利用者		稲作	0.50 ha	ha	稲作	2.00 ha	ha		
14	利用者		水稲	0.24 ha	ha	水稲	1.00 ha	ha		
15	利用者		めん羊、ブドウ	0.70 ha	ha	めん羊、ブドウ	0.70 ha	ha		
16	利用者		水稲、野菜	0.70 ha	ha	水稲、野菜	1.20 ha	ha		
17	利用者		水稲	2.00 ha	ha	大豆、水稲	2.50 ha	ha		
18	利用者		水稲	0.25 ha	ha	水稲、野菜	0.50 ha	ha		
19	利用者			ha	ha	水稲	0.25 ha	ha		
20	利用者		めん羊	70頭 ha	ha	めん羊	100頭 ha	ha		
21	利用者		水稲、梅	0.50 ha	ha	水稲、梅	0.50 ha	ha		
22	利用者		水稲、野菜	0.20 ha	ha	水稲、野菜	0.20 ha	ha		
23	利用者		水稲、果樹、野菜	0.43 ha	ha	水稲、果樹、野菜	0.71 ha	ha		
24	利用者		白菜、大根、長ネギ、なす	0.50 ha	ha	白菜、大根、長ネギ、なす	1.00 ha	ha		
25	利用者			ha	ha	リンゴ、キウイ、野菜、梨	0.34 ha	ha		
26	利用者		果樹、野菜	0.11 ha	ha	果樹、野菜、ブドウ	0.11 ha	ha		
27				ha	ha		ha	ha		
28				ha	ha		ha	ha		
29				ha	ha		ha	ha		
30				ha	ha		ha	ha		
31				ha	ha		ha	ha		
32				ha	ha		ha	ha		
33				ha	ha		ha	ha		
34				ha	ha		ha	ha		
35				ha	ha		ha	ha		
36				ha	ha		ha	ha		
37				ha	ha		ha	ha		
38				ha	ha		ha	ha		
39				ha	ha		ha	ha		
40				ha	ha		ha	ha		
41				ha	ha		ha	ha		
42				ha	ha		ha	ha		
43				ha	ha		ha	ha		
44				ha	ha		ha	ha		
45				ha	ha		ha	ha		
46				ha	ha		ha	ha		
47				ha	ha		ha	ha		
48				ha	ha		ha	ha		
49				ha	ha		ha	ha		
50				ha	ha		ha	ha		

32　信州新町地区



青：現耕作者が耕作　　赤：今後検討等（令和元～２年度実施の人・農地プランアンケートを基本に作成）